

丹沢：小川谷（1回目）

- ◆日程 2018年8月5日（日）
- ◆メンバー L：前田、岡村、小山田、富田、大山、佐藤俊
- ◆天候 晴れ

8:00AM 玄倉バス停に到着した、丹沢湖畔はまだ涼しい、最近の酷暑のせいで夏バテ気味です。玄倉商店がバスの到着と同時に店開き、ここで水を調達して中ノ沢林道に歩き出す、入溪ポイントは林道終点より少し手前で小川谷からずいぶんと離れる。入溪して大きな堰堤を3つ下り、白い岩肌の小川谷を遡行開始する、メンバーが7名となると長い隊列になる。

最初の3m滝で先行するパーティに追いついた、「沢登り講習会だからお先に」と言われたが、我々も少し手こずった、水流が強い。そして最初の核心CS2条4m、先行パーティがいつまでたっても登れていない、水の中で立って30分経過して我々が登りだす。いや、登れない、水流が強い、ホールドもない、アブミを持参したが役に立っていない、アブミに足をかけ残置スリングをゴボウで登るが、アブミに振られて落ちてしまう、先行する岡村さん、前田さん、それに大山さんは流石です、オンサイトでした。途中、ロープが流木に引っ掛かり取れなくなる、ロープを切ろうかとも考えた、滝に打たれながら冷静にロープを解いた、体は冷えたが日は強くなっていた、もうすぐ12時だ。

最初の難関で1時間半を使ってしまった、予定を大幅に遅れている、次の2+5m滝もロープを出して順番に登る、流れが速いので落ちたら淵まで流される、慎重に確実に登る。

ワナバ沢の出合いを過ぎた頃には13時を過ぎている、どこかで切り上げようと前田さんも考え出す。次は滝の裏側くぐりだ、一人ずつ滝を抜ける、ようやく乾いてきた体を再び濡らす、ザックの中身は大丈夫だろうか？。この辺で遡行をやめ右岸の尾根に上がる事にする、いや、前方に大岩がある、最後につるつるの大岩を残置ロープで登る、昔はロープが無かったらしい、裸足でダッシュして登ったのか？。稗畑沢（ひえばたけさわ）の手前の尾根に登る、鞍部からすぐに登山道（廃道）を発見、40分くらいで林道と合流した。（記：佐藤俊一）

大きな岩の左右をわかれて落ちる、二つ目の滝は想像を超えていました。水の力に手も足も押し戻され、心が折れかけましたが上から引っ張り下から押し上げしてもらいようやく上がることができ、その後も何度もロープに助けられました。両手両足を使って登っていくのは、やっぱり楽しいです。岩トレや地図読みなどひとつひとつ参加する、ボルダリングジムに通ってみる、と具体的な課題、目標ができました。リーダー・影のリーダー始めメンバーのみなさま本当にありがとうございました！



（記：西山幸子）

CT：バス停 8:00 - 小川谷出合 10:2 - CS2 条 4m 10:50/12:20 - 2+5m 滝 12:40/13:10 - ワナバ沢出合 13:20 - 大岩 14:40 - 穴ノ平駐車場 15:50 - バス停 17:20